



志津南

志津南ホームページ
<http://shizu373.net>

発行
志津南学区まちづくり協議会
(事務局) 077-507-6496

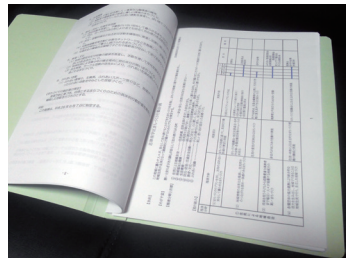
まちづくり行動計画を策定

指標にもとづき実施事項定める

志津南まちづくり協議会(中原勝一会長)は9月6日理事会を開催、「志津南学区まちづくり行動計画」を策定しました。

このまちづくり行動計画は、6月7日の理事会で了承・制定された「まちづくり指標」に基づいて、平成26年度から平成29年度までの中期的、具体的な実施事項を定めたものです。今後はこの行動計画に従って継続した活動を進めることとなります。

まちづくり指標には次の6つの分野について、それぞれ目標と推進方針を挙げていて、行動計画ではこの推進分野別に実施事項、実



一、施内容、スケジュール、担当団体を定めています。
二、住民による地域自治
三、地域福祉と健康
四、防災・防犯・交通安全活動
五、教育・文化
六、ふれあい活動
詳細は全戸配付した「志津南学区まちづくり行動計

まち協だより

第4回理事会 (平成26年9月6日)

- ① 8月30日に草津市社会福祉協議会で、送迎支援活動に使う車両の無償貸与にかかる協定書の調印式があった。
- ② 7月1日に施行された「草津市協働のまちづくり条例」に基づき、8月11日に市役所で認定式が行われた。これにより、まち協が学区を代表する唯一の総合的な自治組織ということになった。
- ③ 青少年育成委員会の「子ども110番の家」の黄色コーンの表示シールの交換に必要な経費の追加申請が承認された。
- ④ 地域史誌「志津南の歩み」の製作について、概略の構想が提示されたが、意見やアイデアなどを出していただき、次回理事会でもう少し具体化して提示し、了承の上で進めていくことに。
- ⑤ 前回提示された「まちづくり行動計画」が承認された。会則集の「まちづくり指標」のあとに綴じ込んでいただきたい。

「画」をご覧いただき、皆さんのご理解、ご協力を得て、「憩いと安らぎがあり、誰もが安心して住み続けられるまち」を目指して活動を進めていきたいと考えています。

人権擁護委員に増田雅子さん

志津南学区人権擁護委員(任期3年)が10月1日付けで大久保好子さん(若草三丁目)から増田雅子さん(若草五丁目)に交替しました。大久保さん、3年間で苦勞さまでした。
人権擁護委員は市長の推薦により、法務大臣が委嘱

人権擁護に関する諸活動を担っていきます。草津市には各学区から1人、計13人います。

敬老会 人数多く二部に

志津南学区まちづくり協議会主催の敬老会が「敬老の日」の9月15日、志津南市民センターで開催されました。写真は、今年新たにかがやきの丘、コージガーデン、追分鴨田3町内会・自治会が当まちづくり協議会に加わり、70歳以上の対象者は450名となりました。この日はこのうち141名が出席、収容人数の関係で、「午前の部」「午後の部」に分けてお祝いしました。



具体的には、大津地方法務局や草津市人権センターで人権相談に応じるほか、「人権擁護委員の日」や「人権週間」には街頭で啓発活動を行います。学区内では人権教育推進委員会委員として活動に参画します。

かがやきの丘で一斉清掃



かがやきの丘町内会は9月28日、町内の一斉清掃を実施しました。写真は、秋晴れで日差しが厳しい中、大人285名、子供157名、合計442名がそれぞれを担当区域で一生懸命草刈りや清掃をしました。また、今回の一斉清掃に先駆けて、9月7日に「草刈り隊」有志16名が、機械を使った草刈りを行いました。

ご協力くださいました皆様、ありがとうございます。次回の一斉清掃もよろしくお祈りします。

資源回収

- 10月19日・11月2日 若草一丁目〜五丁目
- 10月26日・11月9日 若草六丁目〜八丁目
- 10月25日・11月8日 かがやきの丘
- 回収品
古新聞(チラシも可)
古雑誌・段ボール・古着
☆朝9時までに自宅前へ

最後は、地域で活躍されている村井教夫さんのギターで懐かしい歌を参加者全員で歌い楽しいひとときを過ごしました。

第10回 スポーツまつり

秋晴れに快い汗流す

多彩な種目に熱戦を展開

志津南学区体育振興委員会(上羽美知子委員長)は9月28日、秋晴れのもと、若草中央児童公園で約400人が参加して第10回志津南学区スポーツまつりを開催しました。



今年度は追分南地区の「かやきの丘町内会」、「コージーガーデン自治会」、「追分鴨田町内会」が加わり、

志津南地区から志津南学区となつての開催でしたが、追分南ブロックとの調整の結果、前年と同様、若草一丁目から八丁目および岡本町西の9町で構成する「若草・岡本西ブロック地区」としての開催となりました。

自由参加種目の「鉛つかみ競争」では、こぼれそうになるほどのアメを手にした児童が、また「パン食い競争」では、顔全体の筋肉を使ってパンを口にしながら加者が笑顔でゴールへ駆け込みました。2年目の「遠くへ飛そうスリッパ飛ばし」では青空に舞い飛ぶスリッ

高穂中で体育祭 第31回高穂中学校体育祭が秋晴れの9月12日、「爽・走・創・輝け!七色の魂」をスローガンに同校グラウンドで開催されました。北川健校長が開会を宣言したあと、清水晴美PTA



パに歓声が上がりました。新種目の「タンカをつくって箱乗せ運べ」写真、「町内対抗シャトルラン」当たりがとれるか阿弥陀のみ(神頼み)では、自主防災委員会の簡易タンカつくりの指導もあり、選手は搬送物(お茶ケース)を運んでいました。また「町内対抗シャトルラン」では、各町から体力自慢の選手が約25mのコースを往復しながらひたすら走り続けました。「当たりがとれるか阿弥陀のみ(神頼み)」は、競技場に書かれた阿弥陀ラインをたどり、唯一の当たり札を手にする種目でまさに神頼みでした。最後に参加者全員が大き

な輪になり江州音頭。参加者は真夏を思わせる日差しの中で汗を流し、「スポーツの秋」にふさわしい一日を楽しみました。会場の事前整備、進行に携わってくださった方々、ご協力いただいた各種団体



親子ふれあい広場

志津南学区民生委員児童委員協議会は9月25日、志津南市民センターで「ふれあい広場」を開催、子育て中の親子や地域の方約75人が参加しました。写真。第一部は湖南市の「人形劇サークル おにぎり村」を迎え、「とんでったバナナ」や「おもちゃのチャチャチャ」など温かさあふれる人形劇を上演、子どもたちはお母さんのお膝で真剣に見入っていました。また、グー・チョコ・パーの指遊びでは歌に合わせてもみじのような手で色々かたちを作って見せていま

の熱い思いを込めた7名の団長のリード、そしてカラフルな各団応援旗がはためく中、競技がスタートしました。また同校体育祭の恒例行事である各団長からの一言では、涙する生徒や父兄の姿も。感動と充実した一日でした。

のみなさん、ありがとうございます。なお、優勝は昨年に引き続き岡本町西、準優勝は若草8丁目、第三位は若草6丁目でした。(上羽美知子)

第二部は民生委員のリードで布ボールやブループ等の遊具を使い、親子で楽しく遊びました。なかでも大きなバールンとボールを使った遊びでは元気な歓声が上がっていました。また参加されたお母さん方から「友だちに声をかけてもらい来て良かったです」と楽しんでいただけました。最後にお土産をもらう子どもたちは「ありがとう」と笑顔で答えていました。

防犯絵画コンクール 交通防犯委員会(菊地進委員長)は、夏休みに小学生から募集した交通安全と防犯に関する絵画の表彰作品を選びました。応募作品28点について、9月6日に開いた審査会が審査を行った結果、最優秀賞に松本咲菜さん(1年、岡本町)



J・ポリスが交通安全啓発

生児童86人がドライバーに交通安全を呼びかけました。写真。若草中央バス停で草津警察署員の誘導で停車したドライバーに「命を守る交通ルール」とのアンパンマンのシールを貼った袋に入った児童たち手づくりの「交通安全ルールを守って安全運転をして下さい」の手書きのメッセージカードと草津東交通安全協会志津南支部が用意したあんパンを手渡しました。児童たちの緊張と不安のドキドキが伝わってききましたが、草津警察署、交通安全協会、民生委員、市民センターの方々が見守る中、手渡すときも交通安全の一言を添え、立派に役目を果たしました。

恒例となっているこの啓発活動は志津南小学校の協力を得て実施しているもので、ジュニア・ポリスの制服、製帽に身を固めた三年

の作品写真が選ばれました。また、市民センター所長賞に菊川はなさん(4年)、まちづくり協議会会長賞に松本心花さん(5年)

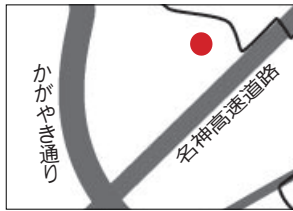


の作品が選ばれたほか、優秀賞には7人の作品が選ばれました。全作品は9月8日から19日まで市民センターロビーに掲示され、20日には表彰式も行われました。最優秀作品は、知らない人にはついて行かないよう訴える作品で、コピーが各町の掲示板等に掲示されました。どの作品も子どもたちの一生懸命さや工夫が伝わる力作ぞろいでした。

人権推進委が県外研修

京都市施設や大徳寺を見学

志津南学区人権教育推進委員会(藤原忍委員長)は9月6日、ツラッティ千本(京都市人権資料展示施設)と大徳寺の大仙院で県外研修を実施しました。名名の参加があり、部落差別問題をはじめ人権問題について学びました。



ヤシの木立の間に白く輝く、さても見事な月。ハワイではない。ロクハ公園から撮ったこの月は「月々に月見る月は多けれど月見る月はこの月の月」と謳われた中秋の名月(今年は9月8日)ではなく、翌9日の、いわゆるスーパームーンと称される満月である。古来、和歌や俳句に詠まれ続けてきた情趣を台無しにするような命名でいささか白けるが月に落ち度はない。心静かにこの月を味わおう。

展示室で、町並みの模型や古地図等、千本地域の移り変わりを、第2展示室では展示されている千本地域の歴史年表、洛中洛外図屏風高津本(レプリカ)を見学、館員から説明を受けました。千本地域は、かつて蓮台野村と呼ばれ刑吏等の公役を担っていたほか、雪駄(せつ

た)等の履物業などで栄えていました。しかし、明治時代に入り、1871年の解放令に伴う公役のはく奪により貧困化が進みました。「差別と貧困による悪循環」という現代に至る問題はこの頃から始まりました。そんな同地域は厳しい部落差別にさらされつつも、人との豊かなつながりとふれあいをもった生活をこの地で営まれてきたということ



大仙院で説明を聞く参加者

千本地域の歴史を通して、今もなお残る不合理な差別の現実、気づき今日の地元の人権・教育・福祉のまち

つくりについても学ぶことができました。大徳寺の大仙院では、国宝の本堂を見ながら、枯山水庭園の説明を受けました。重要文化財、美術品があり、さらに千利休と豊臣秀吉が入り込んだお茶室を見学しました。

今回の県外研修は人権の歴史や知識を深めるよい機会となりました。講師団の田中幸一講師が「予断・偏見をして差別意識について」と題して講演、29名の参加者は10月に各町内会で開催する学習懇談会に向けて、真剣に耳を傾けました。



講演ではグラフィックの窓で紹介された今野敏彦氏の差別や人権の定義について紹介があり、偏見については「ゆがめられた考え方や知識をもとつき客観的根拠がないのに特定の集団や個人に対し抱く非好意的な意見や判断、又それに伴う感情」と定義し、具体例を紹介しました。

志津南学区人権教育推進委員会(藤原忍委員長)の「町内学習懇談会推進者研修講座(第3講座)」が8月23日志津南市民センターで開かれ、草津市同和教育啓発

講演ではグラフィックの窓で紹介された今野敏彦氏の差別や人権の定義について紹介があり、偏見については「ゆがめられた考え方や知識をもとつき客観的根拠がないのに特定の集団や個人に対し抱く非好意的な意見や判断、又それに伴う感情」と定義し、具体例を紹介しました。

その中で田中講師は、予断や偏見を生みだす社会的潜在的な価値観の例として、職場で上司が部下を「お前」と呼んだり、人前で激しく叱責するパワーハラスメント。ブラック企業における働く者の扱い。子どもの貧困の連鎖などを挙げ、この世には差別される対象が満ちあふれている。偏見や差別をなくしていくためには、わがらうとする努力が大切であると強調しました。

好評だった秋風コンサート



志津南市民センターのシアターのついで「秋風コンサート」が9月11日、同センターで開催され、会場を埋めた大勢の参加者がアンサンブル

ル・ドルチェのプロ級の演奏を楽しみました。アンサンブル・ドルチェ(Dolce)は、クラリネットの小林初子さん、ヴァイオリンの中村佳子さん、ピアノの浜田明美さんの女性3名で構成、県内各地で演奏活動を展開しています。

演奏の合間には、クラリネットが人の声に一番近く、五つのパートに分けて持ち運べることで、中村さんのヴァイオリンは1908年製で中村さんの手に合っており大変お気に入りであることなどのおエピソードを紹介、参加者をなぐませました。

会場を埋めた95名の参加者はクラシックをはじめ、ミュージカル音楽、日本の唱歌など、なじみ深い調べに聴き入っていました。

プログラムの終了後もアンコールの拍手が鳴り止まず、3曲目の「ふるさと」では全員が唱和しました。参加者は「心が和みました」などの感想とともに再演を望んでいました。

こよみ

- 10月18日(土)
 - ☆健康ウォーキング(若寿会) 8:15 若草中央公園集合
 - 10月21日(火)
 - ★地域サロン:懐メロを歌う会 10:00~11:30
 - 10月22日(水)
 - ☆やすらぎ学級館外研修 8:20 集合
 - 10月25日(土)
 - ☆社会奉仕 8:30 若草中央公園集合
 - 10月26日(日)
 - ☆防災訓練 14:30~ 若草中央児童公園
 - 11月1日(土)
 - ☆健康ウォーキング(若寿会) 8:45 若草中央公園集合
 - 11月7日(金)
 - ★ふれあい昼食会 12:00~13:00
ボランティア「泉」
 - 11月11日(火)
 - ★地域サロン:懐メロを歌う会 10:00~11:30
 - 11月15日(土)
 - ★平和祈念講演 13:30~
 - 毎週金曜日
 - ☆ふれあい喫茶(お茶の間) 10:00~12:00 五丁目集会所
- ★印の場所は志津南市民センター(公民館)です



あいさつ運動啓発 優秀賞決まる

志津南学区青少年育成委員会(増尾克裕委員長)はこのほど、募集していた「挨拶(あいさつ)運動啓発作品」の優秀作品を選出しました。最優秀賞には、志津南小六年、橋本歩花さんの標語「町中に 元気を分けよう あいさつで」。同六年、仲本芽生さんの絵画「あいさつで みんなの心 つなげよう」を選出しました。写真。このほか、次の七名の作品を優秀賞に選びました(敬称略)。

志津南小五年 松山敦翔、同四年 五島直哉、同四年

出口環湖、同三年 笠原遙、同二年 小川颯太、同一年 なかむら ひめ、若草一丁目 秋山謙一。

優秀作品をまとめたポスターは、各町内の掲示板等に掲示していただきますのでご覧いただくとともに、あいさつ運動にご協力をお願いします。

11月8日(土) 人権講座

志津南市民センターは、第一回人権講座を次の通り開催します。

▽日時 11月8日(土) 午後1時30分から3時まで

▽会場 同市民センター

▽対象 どなたでも

▽内容 「人生100年時代を生きる私たち このまち(地域)でいつまでもいきいき暮らしたい」をテーマに高齢者がいき

いき暮らすためには何か必要かを考えます。

▽講師 G・NETしが推進員 NPO法人アンタナテ参画21代表 阿部美智子さん

▽定員 100名

▽参加費 無料

▽問い合わせ 同市民センター 電話(563) 6206

多数の参加をお待ちしています。

伊賀の里体験 参加者募集

志津南地区地域協働校推進委員会は「伊賀の里モクモクファームへ行こう!」を次の通り開催(雨天決行)、参加者を募集しています。

▽日時 11月1日(土) 9時30分集合、16時30分解散 予定

▽集合 志津南市民センター(時間厳守)

▽対象 志津南小学校区在住の小学3年生~6年生

▽内容 「伊賀の里モクモク手づくりファーム」で動物とのふれあい、豚まん作りを体験します。

▽定員 40名(先着順)

▽参加費 500円

▽申し込み 参加費を添えて参加者本人または保護者が志津南市民センターに申し込んでください。

10月11日(土)から受付を開始しています。

▽問い合わせ 志津南市民センター 電話(563) 6206

昔料理の講習会

志津南学区健康推進員連絡協議会では、小学生を対象に、昔から伝わる料理教室を次の通り開催します。

▽日時 10月25日(土) 9時30分~13時

折々の記



人間の前に犬について考えてみる。犬は狼を祖先に持つため、リーダーの元で群れをなして獲物を襲う習性を持つ。それゆえ主人とともに駆け回ったがる。獲物を捕る必要がないのにもかかわらずである。

この時、犬を駆り立てているものは快感である。獲物を捕る必要がなくともこの行動自体が脳に快感をもたらすからである。ここが重要なところである。

かたがての電話など、振り込め詐欺の手法は巧妙になってきています。草津警察署員による寸劇で、だまされない方法を学んでみませんか?

▽日時 10月29日(水) 午後1時30分から

▽場所 志津南市民センター(公民館) 大会議室

▽参加費 無料

▽対象 市内在住・在勤60歳以上の方

▽申し込み 志津南市民センター(公民館) 電話(563) 6206

本能

人間も似たような本能を持つ。集団で他の部族を襲い、その縄張りを自己部族のものとする習性である。文明社会においてこの本能は社会悪となるものである。それゆえ人間の歴史のなか

のだるうか。私は自分をシヨナリズムに感化された人間ではないと思っていたが、隣国との領土問題のニュースを見ると心のどこかで「やっつまえ」という気持ちが起こるのに気がついた。なにかのきっかけを作れば国民の本能の呼び声「やっつまえ」という気持ちがにさせるのはそうむずかしいような気がする。

悲しいことに、現在広く分布している人類は集団闘争を好む種族である。なぜならば、争いを好まない種族はとっくの昔に滅ばされてしまったであろうからである。

▽日時 11月1日(土) 午前10時から14時30分

▽行先 びわく文化公園

▽集合場所 志津南市民センター

▽申し込み 志津南市民センター 電話(563) 6206

▽締め切り10月20日(月)

ウォーキング 参加者募集

志津南学区健康推進員連絡協議会は秋の「はつらつウォーキング」の参加者を募集します。

り早い時期からこの習性への対処法としてスポーツが取り入れられた。サッカーのような集団と集団の闘いは最も快感を呼び起こし、封じられていた原始の本能を満足させることができるのである。

しかし、この本能を人間はコントロールできている

(ローレンツ)